

無石綿

# NS-STモルタル

内外装材張付け用プレミックスモルタル  
(再乳化形粉末樹脂混入タイプ)

NS-STモルタルは、スライスレンガ・セメント系ブリック等の張付けまで可能にした高性能ポリマーセメントモルタルです。

## 特長

- 再乳化形粉末樹脂を適性配合しており、接着耐久性に優れています。
- ダレ・ズレが少ないためスライスレンガ・セメント系ブリック等の幅広い張付材として使用できます。
- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。

## 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
20kg/袋	内・外壁、 内・外床	コンクリート、 PC板、 押出成形板、 モルタル	スライスレンガ、 セメント系ブリック、 セメント系ストーン	清水 約3.5ℓ	5～8mm (改良圧着張り)	約2.5m <sup>2</sup> (5mm厚)

※炭酸泉等を含む酸性泉を使用している温泉・温水プールなどには、使用しないでください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

## 性能

試験項目	試験結果	旧都市公団「タイルモルタル」の品質基準
保水率(%)	85.7	80以上、95以下
単位容積質量(kg/ℓ)	1.87	1.80以上
接着強さ*1(N/mm <sup>2</sup> )	標準時	(0.60以上)*2
	温冷繰り返し後	(0.60以上)*2
長さ変化率(%)	0.11	0.20以下
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7.40	8.0以上

注) \*1：試験基板の寸法；300×300×60mmの舗装用コンクリート板、使用タイル；ブリックタイル

日本化成(株)中央研究所

\*2：試験基板の寸法；70×70×20mmのモルタル板、使用タイル；50角磁器タイル

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

# 施工法

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧洗浄をおこなってください。  
\*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

## 下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。  
\*ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

## 練混ぜ

NS-STモルタル20kgに対し、所定量の水を加え、ハンドミキサー等で十分に練り混ぜてください。  
\*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内を使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

## 下地への 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。1回の塗付け面積は2m<sup>2</sup>程度とし、気象条件等により適宜調整してください。  
\*安定した接着力を確保するための塗厚の目安は、3~5mmです。  
\*タイルを張り付ける際には、NS-STモルタルの表面が指先によく付くことを確認してください。  
\*接着不良の原因となりますので、NS-STモルタルが指先に付かなくなった場合は、必ずかき落として、再度塗り付けてください。  
\*タイル張付け面にくし目を入れると裏面に空隙ができ、接着不良の原因となりますのでくし目は入れないでください。

## 仕上材張付け (ブリックタイル、 大型セラミックスストーン等)

仕上材裏面にもNS-STモルタルを約3~5mm塗り付け、仕上材を張り付けてください。  
\*セメント系ブリック等吸水の激しいブリックは、ブリック裏面にNSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液で吸水調整処理をおこない、必ず改良圧着張り工法で張り付けてください。  
\*安定した接着力を確保するための仕上材裏面への塗厚の目安は、以下の通りです。  
小口平大：約3mm  
二丁掛大：約4mm  
二丁掛大超：約5mm  
\*仕上材張り付け後の目地直しが必要な場合は、速やかにおこなってください。無理な目地直しは接着力が低下する原因となります。  
\*セメント系ストーンを2階以上の部位に張り付ける場合、必ず、ステンレス線等で躯体に1枚ずつ緊結する措置をとってください。なお、取付け金物の形状・寸法・取付け方法は JASS 9 張り石工事の仕様に基づいてください。  
\*JASS 19 陶磁器質タイル張り工事の仕様に基づいて張り付けてください。

## 目地仕上げ

目地仕上げは盛り上がったNS-STモルタルを、目地ごてを用いて所定の形状に仕上げてください。  
\*目地深さは、仕上材厚みの1/2以内となるようにしてください。盛り上がり量が少なく1/2より目地が深くなる場合には、NS-STモルタルでさし目地し、目地深さが1/2以内となるように調整してください。  
\*後で化粧目地仕上げをおこなう場合は、「目地仕上げ」工程は省略してください。

## 養生

降雨・降雪のおそれがある場合は、シート掛け等の養生をおこなってください。また、通風・直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。  
\*浮き・はく落の原因となりますので、タイル張付け後、3日程度は降雨・降雪の影響を受けないよう必ずシート掛け等の養生をおこなってください。  
\*接着力低下の原因となりますので、張付けモルタルの強度が安定するまでは過度な振動や衝撃を避けてください。強度安定までの目安は夏季7日以上、冬季14日以上です。  
\*後で化粧目地仕上げをおこなう場合は、塗り付け後次工程(目地詰め)までの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。



## 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。